

## 第6回安曇野市都市計画審議会 会議概要

- 1 審議会名.....第6回安曇野市都市計画審議会.....
- 2 日 時.....平成20年8月1日 午後 1 時 30 分から午後 3 時 20 分まで.....
- 3 会 場.....安曇野市豊科総合支所 第2会議室.....
- 4 出席者.....小林委員、竹岡委員、宮川委員、山田委員、斉藤委員、田中委員、勝野委員、塚田委員、白澤委員、矢澤毅彦委員、藤澤委員、望月委員、矢澤久男委員、丸山委員、高山委員、松澤委員、宮下委員、仁科光晴委員（代理越技術幹兼整備課長）.....
- 5 市側出席者.....平林市長、都市建設部：久保田部長、等々力課長、浅川補佐、鎌崎企画員、城取主査山田主査.....
- 6 公開・非公開の別.....公開.....
- 7 傍聴人.....1人.....記者.....1人.....
- 8 会議概要作成年月日.....平成20年8月8日.....

### 協 議 事 項 等

- 1 会議の概要
  1. 開 会 (久保田部長)
  2. あいさつ (平林市長)
  3. 委員自己紹介 (職員自己紹介)
  4. 都市計画審議会の業務について (事務局より説明)
  5. 審議会会長及び職務代理者の選任 【会長：藤澤委員、職務代理者：勝野委員】
  6. 土地利用検討に関する資料説明
    - (1) 土地利用管理に向けての検討状況 (事務局より説明)
    - (2) 長野県協議の状況 (事務局より説明)
    - (3) 今後のスケジュール (事務局より説明)
  7. 閉 会

#### 意見概要

- 統一した形にもっていくということだが、市の条例とした場合には、豊科地域の線引きは外せるのか。
  - 安曇野市が条例でいくとなれば、豊科地域の線引き制度を外していただくことを県へお願いしていくことになる。実際に全国的に見れば線引き制度を外したところ、新たに線引き制度導入するところもあるので、まったく外れないということではないと考えている。
- 「規制強化になります」という表現はいかがなものか。皆が良くならなければいけないと思う。
  - 説明段階では表現を改める。ただし考え方としてはやはり規制の強化につながっていくことはご認識いただきたい。
- 県との協議の中で、県のほうでいくらか緩める気配が出てきたのか、まったくそうでないのかお聞きをしたい。
  - エリアのとり方、距離要件等だいが県の皆さんも考えていただいて、安曇野市の考える方向に近いような考え方も示していただいているのが現状である。もう一つ要因として、松本市が34条の11号を使っていく検討をしている中で、若干ではあるが検討の余地が拡大してきていることは確かである。
- 同じ安曇野市民が同じ土俵で税金を納め同じような権利のもとに平等に生きていくということがより必要だと考えるのかがか。
  - 一番重要なことと認識している。

- スケジュールに関連して市の方針を定めた後に審議会を開く必要があるのではないか。
- スケジュールを見直す。
- 都市計画道路3・4・8の神明通線、3・4・4の中学通線の改良工事について、計画決定した当時に比べて追い越し車線、付加車線等で計画決定の変更が通常あると思うが、この2年間計画変更等の審議がなかったため状況を確認したい。
- 工事が進んでおり、平成22年には終了する予定である。その段階で必要があれば変更していく。
- 都市計画決定された礫山公園の計画面積は0.17haであるが、それよりもだいぶ広い公園として整備されているように感じた。どのように整理されているのか。
- 旧穂高町時代から緑の基本計画を使いまして、都市計画決定を経ずにやってきた。市内に都市計画決定をしていない都市公園が多くあることから、取りまとめて都市計画決定していきたい。
- 公園等の整備はあらかじめ都市機能を考える中で計画決定され整備していくものであって、計画決定することにより規制がかかり、土地の収用等がスムーズにいく、そういう目的からも都市計画決定されるべきものであって、整備できてから計画決定するというのはいかがなものか。また穂高のごみの焼却場が都市計画決定されているが最近、拡張するという事で既に用地買収もされているように見受けられる。都市計画はあくまでも10年、20年見越した中での施設配置等を考えて決定し事業していくべきものである。都市計画審議会を無視されたような形で事業が進められているように感じられたため、今後検討していただきたい。